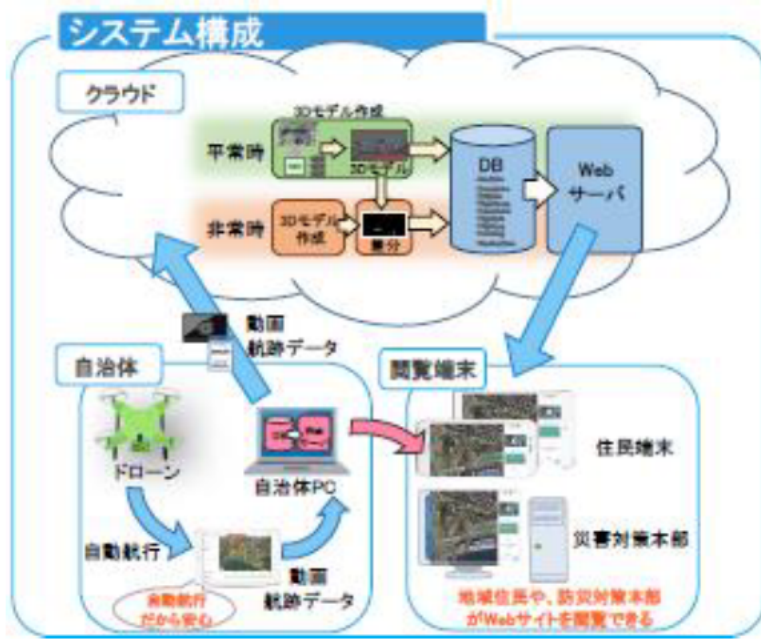


全国高専プログラミングコンテストでの最優秀賞受賞
鳥羽商船高等専門学校（鳥羽市）



鳥羽商船高等専門学校の制御情報工学科では、プログラミングを基本に各種センサーとクラウドを結びつけるIoT教育に注力しており、三重県中南勢地域の高等教育機関として、技術者養成に取り組んでいます。

成果のひとつとして、ドローンを活用した防災減災システム「みつばちず」が、平成28年に開催された「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」の自由部門で、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞しました。例年、多くのコンテストで受賞するなど、全国でも高く評価されています。

【「みつばちず」とは】

ドローンを用いた防災減災地図作成システムです。鳥羽商船高専は、以前から地域の防災減災活動に参加し、ICTでの支援を行っていました。「災害が起こった際、被害状況や二次災害の情報が得られない」という地元の要望をもとに、自治会が自ら情報を収集し、防災減災に役立てることができる「みつばちず」を開発することとしました。

地域での実証を行いながら、高齢者や初心者でも簡単にドローンを自動航行できるアプリ、3Dモデル作成と差分処理システムを独自に開発しています。

平時は自動航行アプリにより地域データを蓄積し、これを災害時に撮影したデータと比較することで、被害状況が視覚化でき、またマップ上に要救助者などのコメントを登録することもできます。

「みつばちず」を活用することで、地域の方は従来よりも早い被害確認や避難、さらに住民自らによる情報発信が可能となります。

